

生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合の構成団体を紹介しつゝ～アビリティクラブたすけあい～

こんにちは！アビリティクラブたすけあい(以下ACT)です。20周年を記念し、ロゴマークを作成しました！！(右下)人と人が繋がり、様々な思いと力を出し合い、誰もが安心して暮らせる地域社会を皆でつむぎだすACTをイメージしました。活動はいたって地味なコツコツ型ですが、心は赤色・ポジティブに！！

皆さんがまちでACTと出会うのは、都内34の「たすけあいワーカーズ」や9ヶ所の「ACT居宅介護支援事業所(介護保険制度のケアプラン作成や相談事業)」そしてほっとスペース構想を実現する4ヶ所での「ワーカーズまちの縁がわ」でしょうか。そのほかにも様々なACT会員の活動が実はあちこちで輝き散らばっています。

その活動は、小さな思いを、大勢の力で受け止め育てて



↑ 公開講座『育てにくさを感じるわが子とハッピーに暮らすヒント』



↑ 厚生労働省ヒアリング

きたこれまでの経過です。一つ一つが確実にまちの中の安心の拠点になっています。それらが運動グループの皆さんの活動も含めて、有機的に繋がり合うことで、どんなにか豊かな地域になる事でしょう！！それがACTの描く安心ネットワーク構想です。

今年度は特に、ほっとスペース運営を柱とする「ワーカーズまちの縁がわ」を倍増したいと。鍵になるのは場所の確保です。情報提供をお待ちします！！

是非皆さんもACT会員になって、大勢の力で安心を生みだす醍醐味を感じてみませんか！！



↑ 本当は鮮やかな赤のロゴマーク。カラーでお見せできないのが残念！



↑ まちのほっとスペース「かふえかサムシカ」での料理教室

アビリティクラブたすけあい (ACT)

http://www4.ocn.ne.jp/~tokyoact/index.html
〒160-0021 新宿区歌舞伎 2-19-13 ASKビル 7階
TEL: 03-5155-0835 / Fax: 03-5155-0836 (6月末まで)
7月より住所・電話番号が変わります
〒164-0012 中野区本町 1-13-18 大新 NSビル2階
TEL: 03-5302-0393

「まちのほっとスペース」紹介

コミュニティカフェ「楽多舎」(らくだや) (練馬区)

利用時間: 木・金・土 11:00~16:00

住所: 練馬区中村南 1-18-4

TEL: 03-3990-6386



↑ 入り口のスロープに続く素敵なテラス

← 安心素材のランチ



↑ 2階のスペース。窓には浴衣地のカーテンがかけられています。



↑ 1階のカフェスペース。左は練馬地域協議会のメンバー。

まちのほっとスペースは「居場所」「相談」「ちよとした困りごとの手助け」の3つの機能を持ち、ワーカーズまちの縁がわが運営しています。

たすけあいワーカーズ・ふるしきと NPO・ACT 居宅介護支援事業所ねりまの利用者だった方のお住まいを、地域のために活用して欲しいとの意向を受け、提供された一軒屋を改装し、今年2月にオープン。故人の着物地をソファ、浴衣生地をカーテンに再利用するなど、その方の思い出があちこちに残されています。改修にあたり、壁の漆喰塗りなど、できることは自分たちで行い、大変でしたが充実感があつたとのこと。4/30現在、利用会員は62人、ワーカーズ会員は23人になりました。

ご近所の方が誘い合って集まり、ランチやお茶をしながらついでいけます。ご年配の3人組が退院後の再会をされたり、常連になりつつある男性がいたり、地域に溶け込んでいる様子も伺われます。3月の利用者は週3日の開所で172人、1日あたり約14人が訪れたことになりました。

また、相談事業も事業のひとつですが、正式な「相談」という形でなくても、ちょっとしたおしゃべりの中から必要な支援のしぐみに繋がっています。たすけあいワーカーズや地域活動を続けてきたメンバーが多い楽多舎ならではの対応です。

メンバーにとっても新しい活動の場としての期待も大きく、少しずつ地域の中で手ごたえを感じているようです。同時に運営費がきちんと生み出せ、少しずつでも人件費が出せるよう知恵を絞っていきたいとのこと。これからの活動展開が楽しみです。

市民版地域福祉計画をつくろう！ ～杉並区・生活クラブ運動グループ地域協議会の活動～

杉並区の地域協議会は生活クラブの2まち、杉並生活者ネットワーク、たすけあいワーカーズさんか、ワーカーズ・コレクティブせぶと・保育室モモ・オレガノ・葬祭サポートセンター、NPO 法人おでかけサービス杉並で構成しています。約20年前に生活クラブと生活者ネットワークで始めた地域協議会は、現在、介護保険や高齢者・障がい者の生活支援、子育て支援、生活クラブの戸別配送、移動サービス、葬儀コーディネート、有料老人ホームの食事提供など、様々な市民事業の展開に広がりました。

杉並の地域協議会では、インクルーシブ事業連合の立ち上げを機に、その機能を積極的に活用しています。インクルーシブ事業連合の説明会から始まり、インクルーシブ学習会として居場所をテーマに連続講座や見学会と一緒に企画してきました。そして、地域に役立てて欲しいという遊休資産の活用の話もあり、いよいよ居場所事業が現実味を帯びてきました。

また、墓地をつくる許可が東京都から地方自治体に移管されたことを受けて、「墓地」というテーマを身近に引き寄せて市民が主体的に考えていこうと「みんなのお墓プロジェクト」も立ち上がりました。

一見、これらの動きは関係がなさそうに思えますが、人が生まれて死ぬまで、住みなれた地域で暮らし続けるためにと考えると、一本の線につながります。また、日々の活動や事業から見えてきた課題でもありました。

そこで、これらのことを実現するために、杉並区の市民主体のまちづくりという画を描き、おおぜいの市民とともに新たなしくみづくりをすすめようと、「市民版杉並地域福祉計画プロジェクト」立ち上げを4月の地域協議会で決定。要請を受け、その事務局のサポートをインクルーシブ事業連合が担うことになりました。他にも必要な機能があるのかどうかもプロジェクトでは検討し、杉並のまちづくりの計画化を後押ししていきたいと考えています。杉並地域協議会での取組みを、「市民版地域福祉計画」づくりのモデルにしていけたらと考えています。



↑ 地域協議会後に開催された代理人の活動報告会

資産を社会貢献に活かしたいとお考えの方を対象としたセミナー第1弾を杉並区で開催します!(4面をご覧ください)

ワーカーズコレクティブ「とらいあんぐる」設立！

ワーカーズ・コレクティブ「とらいあんぐる」は、今年1月26日に設立総会を行い、砧地域での子育て支援、保育園待機児童解消、そしてまちづくりの拠点となる活動を展開することを目的として事業を開始しました。

4月1日に開園した東京都認証保育所「生活クラブ保育園 ぽむ・砧」に、0歳児から2歳児までの25名の園児を迎えて生活クラブと共に保育所運営に取り組んでいます。このひと月を通し、園児と保育者との愛着関係も深まり、園では、子ども達のかわいい笑顔がいっぱいみられるようになりました。

子どもを安心して預けられる「もうひとつの家」となるような場所であること、生活クラブの消費材での食事提供や調理保育・栽培保育などを通して、食に対する安心・安全を伝え、食の大切さ、食事をする楽しさを感じられるよう心と身体を育てることを特色としています。子育てを家庭だけで抱え込まず、親・地域・保育者の三者が協力して、子どもの成長を共に支える開かれた保育園を目指していきます。

ワーカーズ・コレクティブ「とらいあんぐる」
代表 三浦祐子



↑ 保育園「ぽむ・砧」入り口



↑ 内覧会で挨拶をするワーカーズコレクティブ「とらいあんぐる」代表の三浦さん



↑ 木のぬくもりがあふれる保育室

生活クラブ保育園 ぽむ砧
世田谷区砧 4-38-4号 グランドテラス1階
(小田急線「祖師谷大蔵」下車8分)
TEL: 03-5727-0637 Fax: 03-5727-0638